

# 根形地区社協だより



根形地区社会福祉協議会  
会長 金子 恵美子

地域の皆様には、日頃より根形地区社会福祉協議会の活動にご理解とご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。  
根形地区社会福祉協議会は、思いやりと助け合いの地域を目指して推進してまいります。  
皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。



●ほっと一息サロン  
(11月17日・於：飯富自治会館)  
ボランティアの方が手品披露をしてくださいました。



●ほっと一息サロン  
(7月7日・於：のぞみ野マルシェ)  
ボランティアの方によるオカリナ演奏を楽しみ、短冊に願い事を捧げました。



●敬老会 (9月13日・於：根形公民館)  
金婚(結婚50周年)を迎えられたご夫婦や会場内最高齢者に記念品が贈呈されました。



●ほっと一息サロン  
(12月25日・於：のぞみ野マルシェ)  
のぞみ野在住の浦尾さんによるピアノ演奏を楽しみました。



●ふれあい交流会  
(10月27日・於：柴又帝釈天)  
寅さん記念館にも立ち寄りしました。



●敬老会 (9月13日・於：根形公民館)  
袖ヶ浦高校吹奏楽部による演奏やボランティアによる楽しい演芸が披露されました。また根形小児童からお手紙、パンフレット表紙には根形中学生のイラストが入りました。



高齢者専門部会では、「ふれあい交流会」、「敬老会」に加えて、新たに、地域の皆様に気楽に参加していただけるような、サロン形式の会、を催すことになりました。昨年3月3日に記念すべき第1回を「ほっと一息サロン」と称し、のぞみ野マルシェを会場に開催いたしました。地区社協としては初めての試みで少し心配なところもありましたが、多くの方々に参加いただき、手品や手足の体操等で楽しい一時を持つことができました。  
さらに、「ほっと一息サロン」を7月7日(のぞみ野マルシェ、オカリナの演奏等)、11月17日(飯富自治会館、手品や紙芝居等)、12月25日(のぞみ野マルシェ、ピアノの演奏等)と季節の行事に合わせ開催しました。いずれの回も参加者の皆様には大変好評でした。  
根形地区社協は、「ほっと一息サロン」を今後も継続して開催いたす予定です。従前の「ふれあい交流会」、「敬老会」ともども地域の皆様のご参加を推進委員一同心よりお待ちしております。

# お元気ですか

今回は昨年の敬老会で、女性最高齢者だった邊見カツさんにお話を聞きました。



のぞみ野在住  
へんみ 邊見 カツさん(93歳)

のぞみ野に来て三十年近くになり、今は息子夫婦、猫三匹と暮らしています。

風邪を引くくらいで大きな病気はしたことがないです。

お嫁さんが嫌いなものは出さないようにしてくれているので、何でもおいしく食べます。

若い頃は着物や洋服を自分で縫っていました。庭仕事や知り合いの人との行き来も少なくありませんでしたが、家族でのお喋りを楽しんでいきます。

穏やかな会話の端々から温かなご家族との暮らしが垣間見えるようでした。これからもお元気で過ごしてください。



●あやめ祭り (6月10日・於:老人福祉会館)

ボランティア手作りのお弁当の舌鼓を打ち、百歳体操、腹話術、コーラスなど盛りだくさんの内容で、楽しいひと時を過ごしました。



給食専門部会では例年次の事業を行っています。

↑参加者おひとりおひとりに根形小学校児童からの首飾りや折り紙、根形中学校生徒から心のこもった絵手紙が贈られました。



●にここ料理教室 (11月25日・於:根形公民館)

栄養についての知識を勉強後、調理実習を行いました。野菜たっぷりのおいしいほうとうとミルクくずもちを皆でいただきました。



一) 70歳以上のひとり暮らしの方に、毎月第3水曜日(7・8・9月を除く)に手作りお弁当をお届けしています。お弁当は、袖ヶ浦高校美術部生徒の絵や根形小学校児童及び根形中学校生徒の絵手紙と一緒に、民生委員児童委員がお届けしています。

## 二) あやめ祭りの実施

毎年6月に老人福祉会館にての会食会。15名の一人暮らし高齢者の方に参加いただきました。

三) 根形にここ料理教室の実施  
簡単な料理を創りながら、参加者同士楽しくお話をしたり、栄養豆知識講座もあり、男性を含む24名が参加いただきました。食の大切さを再認識し、美味しく味わい好評をいただきました。

## 編集後記

まだまだ寒さが続き、熱燗と鍋が美味しい時期でございます。昨年は研修として11月19日(木)横浜税関展示室見学と赤レンガ倉庫内にて昼食後、自由散策にて向かいの海上保安庁資料館に見学に行き、北朝鮮の工作船の20ミリ機関砲の穴だらけの船体を目のあたりにし、自爆した工作員の装備品を見て複雑な思いになりました。未だにこんな国があること、一つの民族が二つに分かれてしまった不幸、日本が大きく関わったこと、責任があること、日本は平和だなーと感じました。

(研修専門部長・大越久雄)